

しもつけし  
**ぎかい  
だより**  
令和4年11月15日発行

令和4年 **第3回定例会**～9月議会～  
—— 今号のポイントは？ ——

- 令和3年度各会計決算 …… P 2
- 令和4年度各会計補正予算等 …… P 4
- 一般質問  
12名の議員が質問しました …… P 9
- 経済建設常任委員が下野市栃木県農業士会  
の皆さまと懇談会を行いました …… P 16
- ぎかいだよりクイズ …… P 16



## 市議会主催の講演会を開催

多くの市民の皆さんにご参加いただきました

しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます  
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会



# 令和4年第3回 定例会

9月1日(木)～9月27日(火)

令和4年第3回定例会は、9月1日から9月27日までの27日間の会期で開催されました。

市長提案により、人事案3件、報告6件、令和3年度決算承認8件、令和4年度補正予算8件、条例の一部改正等7件の計32件が提出されました。また、議会最終日に議員による発議が提出されました。

一般質問では3人の会派代表質問、9人の個人質問が行われ、市の対応や考え方を問いました。

## 令和3年度決算をチェック！ 税金の使い方を確認しました

市長は翌年度の予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について議会の審査・確認を受けなければなりません。

9月議会では決算内容の説明、代表監査委員からの審査報告、総括質疑（5ページに質疑の一部が掲載されています）、総務・経済建設・教育福祉の各常任委員会の審査を経て、本会議で全ての決算を認定しました。

### 令和3年度一般・特別会計歳入歳出決算

会計名		歳入	歳出
一般会計		329億4,788万5千円	301億9,401万4千円
特別会計	国民健康保険	57億5,420万8千円	54億3,582万5千円
	後期高齢者医療	6億8,195万3千円	6億7,708万3千円
	介護保険	46億8,274万3千円	44億7,431万4千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業	2,287万5千円	1,440万円
	仁良川地区土地区画整理事業	6億159万1千円	4億5,008万円

### 令和3年度企業会計決算（税込）

区分		収入	支出
水道事業	収益的収支	11億4,857万12円	9億22万2,452円
	資本的収支	1億9,738万6,150円	8億3,529万5,546円
下水道事業	収益的収支	22億4,499万4,956円	18億3,470万5,913円
	資本的収支	10億4,313万3,539円	14億4,871万1,828円

## 健全化判断比率は良好 健全財政を維持

自治体は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率(※1)、将来負担比率を公表することになっています。

令和3年度は全会計で赤字の該当はなく指摘すべき事項は特になかった結果でした。実質公債費率は2.1%と県内14市中上位の結果となり、合併当初の17.4%から大幅に改善されています。しかし合併特例債が終了し、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今後は安定的な税収を維持するために注視すべきこととなります。

### 主な財政指標の推移

項目	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度
経常収支比率(%)	84.5	85.1	87.6	87.0	87.1
財政力指数	0.719	0.742	0.750	0.760	0.767
実質公債費比率(%)	2.1	1.6	1.8	3.0	3.9
将来負担比率(%)※	△39.8	△54.7	△54.6	△74.4	△80.8

※△はマイナス

※1 実質公債費比率… 公債費(借金の返済金)が標準財政規模(※2)に占める割合を示す。18%を超えると借入に県の許可が必要となり、25%を超えると借入が制限される。

※2 標準財政規模… 税収等+地方交付税+臨時財政対策債発行可能額(令和3年度は約158.2億円)



決算審査報告を行う  
星野代表監査委員

### 監査委員による決算審査意見

決算状況は、前年度と比べ歳入歳出ともに減少し、市税も減額となった。今後は高齢者の比率が高まることに伴い、社会保障制度に関する経費の増加や、公共インフラ施設の老朽化対策に要する経費など多額の資金が必要となり、財政状況は厳しくなると見込まれる。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響から予防対策、振興対策など財政運営は厳しくなることが見込まれる。

今後とも持続可能な財政基盤を構築するため、健全な財政運営に取り組むよう要望する。また、自然災害に対応した強靱な基盤を構築し、安全・安心な市民生活と地域経済の維持発展を図り「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の具現化を図るための施策事業を着実に進めていくことを希望する。

# 令和3年度一般会計決算

令和3年度一般会計決算は新型コロナウイルス感染症対策関連等の費用減少により、歳入・歳出ともに前年度を大きく下回った決算となりました。歳入は国庫支出金が前年度より大幅な減額となり、歳出では民生費、教育費で50%を超える決算となりました。

## 歳入(もらったお金) 329億4,788万5千円 (前年度比29億2,894万1千円 8.2%減)

内訳の大きなものを説明します。

### ●市税(市民税、固定資産税など。個人と法人がある)

97億7,612万7千円(前年度比1.2%の減)

- ・個人市民税においては新型コロナウイルス感染症の影響による給与収入等の減
- ・固定資産税においては新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う固定資産税特例の影響の減

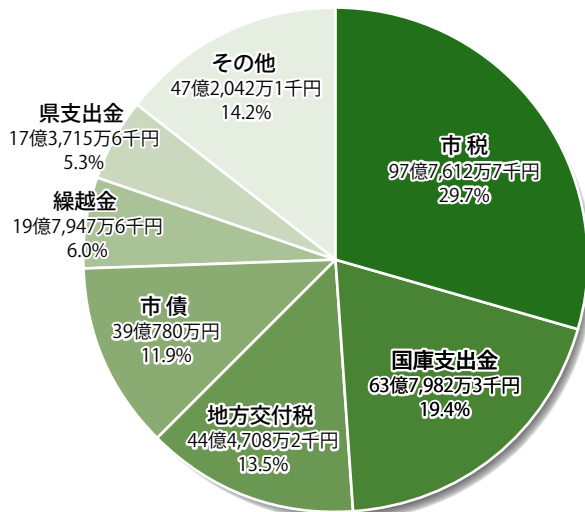
### ●国庫支出金(特定の事業のため国から配分される)

63億7,982万3千円(前年度比39.5%の大幅減)

- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金
- ・公立学校施設整備費負担金

### ●地方交付税(所得税、酒税、消費税の一定割合及び地方法人税の全額)

44億4,708万2千円(前年度比18.6%の増)



## 歳出(使ったお金) 301億9,401万4千円 (前年度比37億333万5千円 10.9%減)

内訳の大きなものを説明します。

### ●民生費 102億5,189万2千円(前年度比16.5%の増)

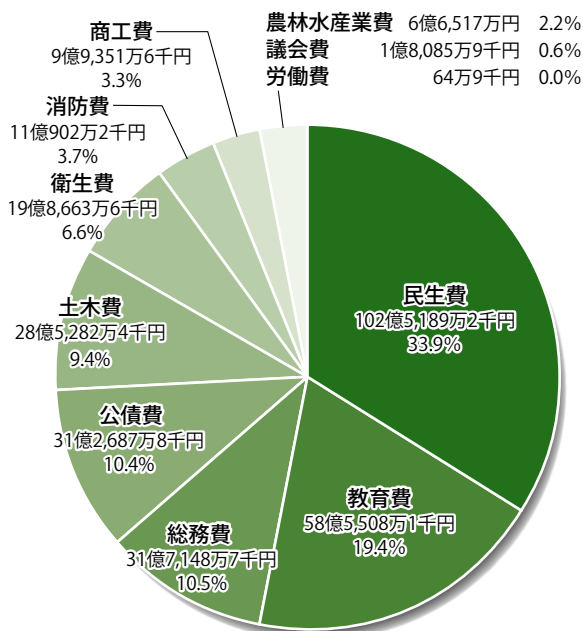
- ・社会福祉総務費(医療費助成など) 23億6,675万円
- ・保育園費(保育園運営、教育・保育施設型委託など) 20億71万4千円
- ・児童措置費(児童手当、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業など) 19億7,046万2千円

### ●教育費 58億5,508万1千円(前年度比27.7%の増)

- ・教育振興費(義務教育学校整備事業など) 30億5,514万7千円
- ・教育総務運営事業 4億9,105万7千円
- ・公民館費(石橋複合施設整備事業など) 5億9,175万2千円

### ●総務費 31億7,148万7千円(前年度比68.3%の大幅減)

- ・財政管理費(公共施設整備基金など) 8億7,757万6千円
- ・情報管理費(情報ネットワーク管理事業など) 2億2,733万7千円
- ・自治振興費(市民活動センター事業など) 2億47万6千円



## 一般会計の決算収支は黒字

区分	金額
①歳入総額	329億4,788万5千円
②歳出総額	301億9,401万4千円
③歳入歳出差引額(形式収支)	27億5,387万1千円
④翌年度に繰り越すべき財源	4億4,294万5千円
⑤実質収支(翌年度繰越金)	23億1,092万6千円

(令和3年度一般会計決算書「実質収支に関する調査」)

令和3年度の歳入歳出差引額(③)は27億5,387万1千円ですが、繰越明許費として住民税非課税世帯臨時特別給付金給付事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、スマートIC整備事業、義務教育学校整備事業、下野薬師寺跡整備事業などにおいて3億9,482万4千円、また、通次(ていじ)繰越として、自治医科大学周辺整備事業の4,812万1千円を翌年度に繰越したため(④)、繰越分を差し引いた実施収支(⑤)は23億1,092万6千円の黒字収支となりました。



# 人事

## ■人権擁護委員の候補者の推薦

本年12月31日をもって任期満了となる人権擁護委員について、右の3氏を推薦することを了承しました。  
任期3年  
(令和5年1月1日～令和7年12月31日)

氏名	住所	新任・再任
なかがわ けんいち 中川 賢一	石橋	再任
つの だひさえ 津野田久江	石橋	再任
まなか やすお 間中 康夫	小金井一丁目	新任

## 令和4年度各会計補正予算を議決

### 一般会計補正予算 (第3号)

## 物価高騰等に対する経費を計上

一般会計は17億510万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を280億2,166万6千円としました。

歳入では、令和4年度普通交付税交付額、令和3年度一般会計決算に伴う繰越金、各特別会計の決算による繰入金などの確定により増額し、歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業5,284万円、農業経営支援事業継続支援金6,473万4千円などの経費を計上しました。

### ■令和4年度各会計補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計	第3号	17億510万2千円	280億2,166万6千円
特別会計	国民健康保険(第1号)	3億338万3千円	55億1,806万5千円
	後期高齢者医療(第1号)	487万円	7億1,302万1千円
	介護保険(第1号)	1億5,126万8千円	46億9,055万2千円
	石橋駅周辺土地区画整理事業(第1号)	847万5千円	1,178万4千円
	仁良川地区土地区画整理事業(第1号)	7,661万円	4億7,449万3千円

### ■令和4年度企業会計補正予算

区分			補正額	補正後の予算額
水道事業 (第1号)	収益的収支	支出	5,334万9千円	10億2,331万9千円
		収入	607万2千円	1億9,957万2千円
	資本的収支	支出	607万2千円	7億8,485万1千円
下水道事業 (第1号)	収益的収支	支出	2,150万6千円	19億3,867万5千円

## 条例その他

議決した主な議案についてお知らせします。

### 奨学金貸付条例の一部改正

経済的理由により就学困難な学生・生徒に対し、現在実施している無利子の奨学金貸付制度を拡充し、償還免除型の奨学金制度を創設しました。

対象は①貸付期間が2年以上であり、最終学校卒業後、1年以内に市内に居住し5年以上継続して居住している等の条件を満たす人、②この条例施行日前に奨学金の償還を開始している人。

償還免除額は償還すべき額の4分の1の額とし、免除額の一部を償還していた場合はその額を、市内居住期間内に償還が完了した場合は免除額に相当する額を払い戻します。

この条例は令和5年度から施行されます。

### 児童館条例、公民館設置条例の一部改正

石橋地区に整備を進めている公民館と児童館の複合施設が12月に開館するため、石橋児童館と石橋公民館の位置を変更し、公民館の施設・設備等の使用料を決めました。使用料は、基本を維持管理費の2分の1とし、市内の他施設や他市町の状況を参考にしました。



12月の開館に向けて工事が進む石橋複合施設

# 総括質疑

市長から提案された議案について、疑問点を問います。

## 市民税・固定資産税 (3年度一般会計決算)

**Q** 今後の市税収入の見通しについて伺う。

**A** 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収となったが、令和4年度は市税全体において前年度よりは増収を見込んでいる。

## 南河内第二中学校区給食室改修事業 (3年度一般会計決算)

**Q** 運営方式について住民説明会を予定しているのか。総事業費、事業の年次計画を伺う。

**A** 建築基準法48条の許可の前提に周辺住民の同意が必要となる。その同意を得るためにも、改修事業やこれらの説明について今後取組みを進めていく。総事業費は6～7億円と見込み、令和5年度に実施設計し、6～7年度に改修・改築を実施したい。

## 認定こども園整備事業 (3年度一般会計決算)

**Q** 薬師寺保育園移転及び認定こども園移設において、土地購入費や埋設物の処分費用に公的支援があるのか問う。

**A** 土地購入及び埋設物の処分費については、補助の対象外となるため公的支援は無く運営事業者が負担することとなる。

## 奨学金貸付事業 (3年度一般会計決算)

**Q** 今までに、この制度を活用した人数について伺う。

**A** 平成21年度にこの制度を発足し、今年9月1日現在で91名が利用した。うち、償還が完了した方が13名、現在償還を行っている方が35名、また奨学金を貸与している方が32名である。その他、貸付け終了後1年間の猶予があるが、その猶予を受けている方が11名となっている。

## 議員発議

議員が条例の制定や改正などについて、議案を提出することです。

### 【発議第3号】下野市議会の秩序と品位を重んじる決議

全会一致で  
採択

【提出者】秋山幸男 【賛成者】大島昌弘、村尾光子、小谷野晴夫、貝木幸男、伊藤陽一

【提案の経緯】 本年第2回定例会での一般質問において、一部不穏当と捉えられる発言がありました。発言者は議長長の注意を振り切り発言し続け、多くの議員は不適切な発言と感じながらも看過してしまいました。新聞報道を機に市内外の多くの皆様からご指摘、ご批判が寄せられ、皆様の信頼を損ねるなど、議会としての品位をおとしめる事態を招いてしまいました。

【決議の趣旨】 下野市議会はこうした事態を重く受け止め、深く反省、陳謝するとともに、二度と繰り返さないよう以下の地方自治法及び下野市議会会議規則の規定を改めて確認し、厳正に対処することを決議しました。

- ①議会の品位を重んじる。(地方自治法第132条、下野市議会会議規則第105条)
- ②議会の会議中、法律または会議規則に違反しその他議場の秩序を乱す議員があるときは、議長は、これを制し、又は発言を取り消させることができる。(地方自治法第129条)
- ③議場の秩序を乱し又は会議を妨害するものがあるときは、議員は、議長長の注意を喚起することができる。(地方自治法第131条)

#### 《その他の議会の取り組み》

- 下野市議会議長名で、本件についてお詫びする声明文を市、市議会ホームページに掲載しました。
- 不穏当と思われる発言部分は、閉会した定例会の議事録からの削除は地方自治法上できませんが、市議会ホームページで公表している動画について、当該部分を市議会として削除しました。
- 要望書等を提出された団体に対しては、下野市議会としての対応策を回答しました。
- 当該発言者は、第3回定例会最終日(9月27日)の本会議での発言が許可され「第2回定例会一般質問での発言の一部を撤回する。誤解を与える発言で心よりお詫びする」と述べました。

※議会だより第65号において、一部不適切な内容が掲載されましたことに対し深くお詫び申し上げます。

# 常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

## 総務常任委員会

◎村尾 光子 ○松山 裕  
秋山 幸男 石川 信夫 西本 由利子 坂倉 司

### 認定第2号 令和3年度国民健康保険特別会計 歳入歳出決算認定

#### 出産育児一時金

**Q** 一件あたりの金額と、出産見込み件数と実績件数について伺う。

**A** 基本額は42万円であり、妊娠22週未満の場合や産科医療保障制度未加入の医療機関においては40万4,000円である。令和3年度の見込み件数は40件、実績は21件である。

### 認定第3号 令和3年度後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算認定

#### 後期高齢者医療保険料

**Q** 後期高齢者医療保険料納入者の人数を伺う。

**A** 特別徴収の納付義務者は6,059人おり、年金からの引き落としで全員が納付している。普通徴収は1,278人おり、そのうち未納の14名除く1,264人が納付している。

### 議案第33号 令和4年度一般会計補正予算(第3号)

#### 戸籍住民基本台帳費

**Q** 個人番号カード申請の拡大方法について伺う。

**A** 10月下旬以降、体制が整い次第、庁舎外公共施設等出張申請サポートと、庁舎1階市民課東側にマイナンバーカード交付申請及び公金口座登録等を支援する特設ブースを設ける。

#### 環境衛生費

**Q** 今後カーボンニュートラルに向けてどのような取組みを考えているか伺う。

**A** 現在、環境基本計画第2期を策定している。世界情勢や日本の置かれた状況を踏まえ、カーボンニュートラルの取組みを検討している。

### 現地調査



こんにちは!  
下野市議会です



FMゆうがお(87.9MHz)の、行政情報番組  
「しもつけピタッとラジオ(12:00~12:55)」  
内で発信中! 毎月最終月曜日です。

♪ぜひ、お聴きください♪



# 経済建設常任委員会

◎貝木 幸男 ○金子 康法  
小谷野 晴夫 石田 陽一 五戸 豊弘 石川 浩

## 認定第1号 令和3年度一般会計歳入歳出決算 認定

### 特別会計繰入金

**Q** 仁良川地区土地区画整理事業の進捗状況と見通しを伺う。

**A** 通行止めの西坪山工業団地交差点は、令和5年度から工事に着手し3年後の開通を目指している。

### 都市計画総務費

**Q** 木造住宅耐震診断事業補助の詳細を伺う。

**A** 木造住宅耐震改修及び建替において、耐震診断を行った場合、1件あたり上限100万円を補助。建替の場合、県産出材使用により10万円が上乗せされる。

## 議案第33号 令和4年度一般会計補正予算(第3号)

### 商工業振興費

**Q** 「しもつけ産業団地整備推進事業」の企業誘致委員会について伺う。

**A** 10月に委員会を設置、誘致の基本方針には市に有利な企業を選定できるよう盛り込み、令和5年2月中旬から予約公募を開始する。

### 現地調査



しもつけ産業団地



細谷堰(上大領地内)



スマートIC

# 教育福祉常任委員会

◎伊藤 陽一 ○山下 みゆき  
大島 昌弘 相澤 康男 加藤 好雄 鈴木 一司

## 認定第1号 令和3年度一般会計歳入歳出決算 認定

### 指定寄附金

**Q** 民生費寄附金の内容を伺う。

**A** 福祉事業の子育て分野に充当希望の寄附金であり、令和4年度で活用を考えている。

### 雑入

**Q** 太陽光発電設備余剰電力売払収入について、どの施設で発生した収入か。

**A** 市内4小学校2中学校における売電収入である。

## 議案第33号 令和4年度一般会計補正予算 (第3号)

### 学校教育運営事業

**Q** 燃料費の差額分を増額補正するが事業者側で負担できないか。

**A** 契約において燃料費は市が負担することになっている。

**Q** 南河内小中学校の代替バスはいつまで使用するのか。

**A** 調達予定車種の生産開始の見通しを明確にするよう要望している。見通しが立たない場合は契約を解除し新たな車種を選定し契約する。

#### 「南河内小中学校のスクールバスについて(質問の背景)」

南河内小中学校のスクールバスは、ディーゼルエンジンバスを発注済みであるが、出荷停止状態にあり、ガソリンエンジンの代替車両にて運用している。

### 現地調査



南河内小中学校学童保育室



南河内テニスコート



石橋複合施設

# 第3回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

## 議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉司	山下みゆき	西本由利子	鈴木一司	石川浩	松山裕	加藤好雄	金子康法	伊藤陽一	五戸豊弘	貝木幸男	石川信夫	相澤康男	大島昌弘	石田陽一	小谷野晴夫	秋山幸男	村尾光子	
認定1号	令和3年度下野市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定2号	令和3年度下野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定3号	令和3年度下野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定4号	令和3年度下野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定5号	令和3年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定6号	令和3年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 (議長は表決に加わらない)

## 全会一致で答申・認定・可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
諮問3～5号	人権擁護委員の候補者の推薦	議案40号	令和4年度下野市下水道事業会計補正予算(第1号)
認定7号	令和3年度下野市水道事業会計決算認定	議案41号	令和3年度下野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分
認定8号	令和3年度下野市下水道事業会計決算認定	議案42号	令和3年度下野市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
議案33号	令和4年度下野市一般会計補正予算(第3号)	議案43号	下野市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
議案34号	令和4年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	議案44号	下野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正
議案35号	令和4年度下野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	議案45号	下野市児童館等条例の一部改正
議案36号	令和4年度下野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	議案46号	下野市奨学金貸付条例の一部改正
議案37号	令和4年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議案47号	下野市公民館設置条例の一部改正
議案38号	令和4年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	[追]発議3号	下野市議会の秩序と品位を重んじる決議
議案39号	令和4年度下野市水道事業会計補正予算(第1号)		[追]…追加議案

## 議会に報告があったもの(表決はありません)

議案等番号	付議事件	内容
報告6号	令和3年度下野市一般会計継続費精算報告書	義務教育学校整備事業(校舎・屋内運動場・給食室・付属棟建築工事及び施工監理、駐車場・外構・グラウンド整備)について事業が終了したことによる精算報告。
報告7号	令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率	全会計が黒字決算。実質公債費比率は1.8%(昨年度1.6%)と良好な財政状態を維持している。
報告8号	令和3年度公益財団法人下野市農業公社の経営状況報告書の提出	農地集積推進事業、農作業受委託推進事業、営農集団及び農業生産法人育成事業など、令和3年度の事業報告。新型コロナにより市民農園まつりなど一部事業が中止となった。
報告9号	令和3年度株式会社道の駅しもつけの経営状況報告書の提出	令和3年度(第12期)の事業報告。売上は道の駅しもつけ、ふれあい館、三王山ふれあい公園を合わせて17億9,987万円(税込)となった。道の駅しもつけでは駐車場の増設や物見塔の改修などが行われた。
報告10号	令和3年度一般財団法人グリの里いしばしの経営状況報告書の提出	ホール事業や企画展示事業など、令和3年度の事業報告。
報告11号	令和4年度下野市教育委員会点検・評価報告書の提出	令和3年度の教育委員会に関する事務事業の点検及び評価の結果を報告。

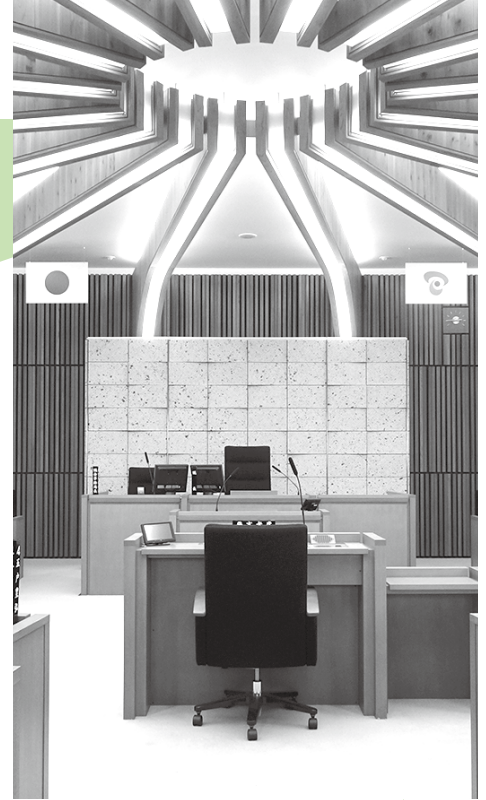


# 市政を問う 一般質問

一般質問は、新型コロナウイルス感染症対策のため、質問時間を1人40分までとして行いました。3名の会派代表質問、9名の個人質問の内容を要約して掲載します。



※一般質問は議会ホームページで動画を公開しています。



## 今回の質問者は

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. 清明会 相澤 康男 議員 ..... P 9  | 7. 山下 みゆき 議員 ..... P 12 |
| 2. 一心会 秋山 幸男 議員 ..... P 10 | 8. 松山 裕 議員 ..... P 13   |
| 3. 下野市民派クラブ 村尾 光子 議員 P 10  | 9. 五戸 豊弘 議員 ..... P 13  |
| 4. 石川 信夫 議員 ..... P 11     | 10. 金子 康法 議員 ..... P 14 |
| 5. 西本 由利子 議員 ..... P 11    | 11. 石川 浩 議員 ..... P 14  |
| 6. 伊藤 陽一 議員 ..... P 12     | 12. 加藤 好雄 議員 ..... P 15 |



## 清明会 相澤 康男 議員

会派代表質問

### 子育て支援について、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援の具体的な考えを伺う

市長 こども家庭センターを設置すべく関係課間の調整を行う

**Q** 子育てに必要な育児用品を支給する考えはあるか。

**A** 市長 次世代を担う子どもの健やかな成長を応援し経済的な負担軽減を図るため、おむつなどの育児用品の支給の必要性を感じている。

**Q** 令和4年3月に議会から学童保育環境の充実等に関する要望書を提出した。その後の改善に向けた検証・検討の状況を伺う。

**A** 市長 要望書で学童保育の環境改善・充実について4項目の要望を受けた。1つ目の経年劣化による施設、備品等の取替については、設備・備品台帳を作成し、学童保育室の改修や備品の入れ替えを行っている。国分寺小学校学童保育室の床材張替えは準備を進めている。2つ目の支援員の人材確保については、新聞折り込み広

告やインターネットなどで募集案内を行い、人材確保に努めている。3つ目の支援員の仕事の範囲については、利用者の入退出管理システムの導入等により、業務の負担軽減を図っている。4つ目の学童保育室の運営については、関係部署が連携し、情報共有に努めながら、児童や保護者の利便性の向上を図り、健全な学童保育室の運営に努めていく。





## 市民が幸せであると実感できるために、 取り組みたい具体的政策を伺う

**市長** 市役所周辺の都市核を中心とした土地利用の推進、  
JR3駅周辺の都市開発を図っていく

**Q** 市役所周辺の都市構造の構築は広瀬前市長の成し得なかった施策であるが、どのような取組を考えているか伺う。

**A** 市長 市街地の拡大はハードルが高いが、地権者の合意形成後、重要施策として進めていく。



市役所西側の風景（屋上から撮影）

**Q** 前市長からの重要継続事業について伺う。

**A** 市長 しもつけ産業団地整備事業は、引き続き

推進し、積極的にトップセールスを行っていく。下野スマートインターチェンジ整備事業も開通に向けた取組を進めていく。

**Q** 市民納税義務者1人あたりの課税対象所得は県内トップ（357万4,000円）、市の財政状況もトップクラスであり、豊かさを感じてもいいはずなのに、なぜ幸せを実感できないのか。老後の生活に不安を抱いているからではないか。人生100年時代に向け高齢者、障がい者をはじめ多くの市民が安心して生活を送ることができるよう更なる介護施設等の充実が不可欠である。中長期的な取組について伺う。

**A** 市長 小規模多機能型居宅介護施設の事業者を募集したが、応募がない状況であった。引き続き充実できるよう取り組んでいく。

会派代表質問

下野市民派クラブ 村尾光子 議員

## 新市長には県南広域的水道整備事業に どう対処するのか、改めて伺う

**市長** これまでの経緯を踏まえ、リスク分散の観点から推進する。栃木市・壬生町と十分協議する



**Q** 市長選では、県南広域的水道整備事業には何ら触れることなく、広瀬市政の継承を訴えて当選された。どう対処するのか。

**A** 市長 県からリスクが示されている限り、その対応策を講じ、問題解決に当たることが水道事業管理者の務めである。現段階では、地下水と表流水のバランスを保ちながら、供給システムの構築を検討していくことが重要だ。

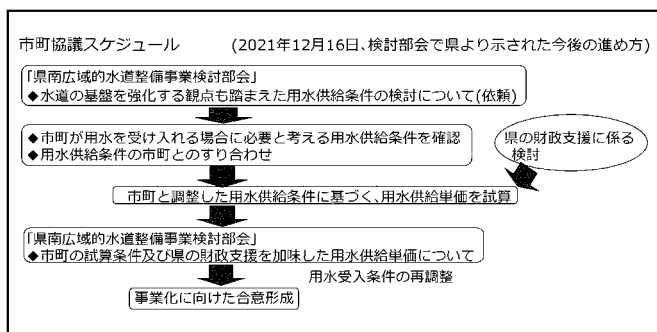
**Q** 昨年12月の検討部会で依頼された水道事業基盤強化検討の進捗状況と県への報告時期を伺う。

**A** 市長 現在は、検討に必要な水道施設に関する情報収集と整理を行っている。今後はそれらの分析、課題抽出、対応策についての検討を行い、用水供給を受ける場合の配水場や計画水量を県へ報告する。報告時期は示されず未定だが、そ

の後、県と供給条件のすり合わせを行い、県が示す用水供給単価を基に協議する。

**Q** 市民には重大な案件である。自治基本条例第33条に基づき、住民投票を実施すべきではないか。

**A** 市長 市民を二分する可能性があり、実施の考えはない。





## 石川 信夫 議員

# マイナンバーカードに おける個人情報の安全性について問う

**市長** 制度面とシステム面の両面から個人情報保護の措置を講じている

**Q** 政府は、健康保険証と一体化したマイナ保険証や、給付金支給の利便性のためにマイナンバーカードと預金口座のひもづけも行おうとしている。ひもづけされれば個人の資産状況が捕捉されやすくなる。マイナンバーカードによって市民の一元管理につながるのではないかと心配している。

**A** **市長** マイナンバーカード普及には3つの効果が期待されている。1点目は市民の皆様の利便性の向上、2点目は公平・公正な社会の実現、3点目は行政の効率化が見込まれるということ。マイナンバーカード制度は安全・安心を確保するため、個人情報が厳重に管理されている。また、行政機関が保有する情報は、分散管理の仕組みとなっており一元管理を行うことはない。

**Q** 民間企業でマイナンバーカードを活用するという新聞記事が載った。個人情報の流出等漏洩対策はされているか。

**A** **総合政策部長** 行政機関同士のやり取りではマイナンバーではなく暗号化されるので、第三者がマイナンバーを基に個人情報を芋づる式に引き抜くことはできない仕組みになっている。



## 学校施設等 長寿命化計画の実行性を問う

**市長** 大規模改修と長寿命化改良を組み合わせた定期的な改修を行い、予防保全型への転換を進める

## 西本 由利子 議員



**Q** 石橋中学校では大規模改修後もアトリウムの鳥糞害に悩まされているが、今後の対応を問う。

**A** **教育次長** 週に1回などの頻度で清掃を委託できるよう検討していきたい。清掃用具の備品等についても支援を行ってきたい。

**Q** 石橋中学校の体育館天井照明が半数しか点灯していない状態が1年以上続いている。国体の練習会場として使用する前に修繕はできないか。

**A** **教育長** 現状で、国体の練習会場としての使用は問題無いと競技団体役員より回答を得ている。不点灯の解消には全面改修が必要で多額の費用と施工期間を要するため、方法や時期等総合的に検討し進めていきたい。

**Q** 修繕が多い学校や社会教育施設に速やかに対応するべく、技師などの専門チームを庁内に設置し、部局を関係なく横断的に相談に対応する組織づくりができないか。

**A** **総務部長** 技師は、土木技師と建築技師合わせて19名いる。横断的に研修会や連絡会をつくるなど情報の共有化を図り、常に担当部局の職員と連携して対応している。これらを通して今後も人材の強化につなげたい。





## 伊藤 陽一 議員

# JR3駅周辺の 都市開発についてどのような 未来予想図を考えているか伺う

**市長** 自治医科大学と連携し医療環境の向上、  
3駅周辺のまちづくりにも連携を働きかけていきたい

**Q** JR3駅周辺の都市開発についてどのような未来予想図、ビジョン、計画を考えているか伺う。

**A** 市長 本市の都市の核となる自治医大駅、小金井駅、石橋駅周辺の都市開発は、本市の玄関口にふさわしい街並みにしていくことが必要である。また、市内には自治医科大学とその附属病院、多様なクリニックが立地するなど、医療環境にも恵まれている。3駅周辺の都市開発や医療によるまちづくりに取り組むことにより都市核を形成し、市全体が市民が暮らし、学び、働く場として魅力ある都市に成長することではないかと考えている。

### インクルーシブ公園

**Q** インクルーシブ公園とは、障がいがある子どもいとも一緒に楽しく遊ぶことができる公園のこ

とである。年齢、性別、身体的機能などを問わないユニバーサルデザインの遊具や施設を整備する考えはあるか。

**A** 建設水道部長 先進事例を確認して、本市における公園の整備状況とその必要性、また大規模改修等がある場合には、頭に入れて計画をしていきたい。今後、このような公園が必要になるかと思われるので、前向きに検討する。



バケットシート型のブランコ



介助者と一緒に滑れる滑り台

## 山下みゆき 議員

# 市民協働の推進及び 市民活動センター活用について伺う

**市長** 自治基本条例は来年、市民参加で見直し作業を行う。  
センターはより活発な運営を図りたい



**Q** 令和3年のアンケート調査ではNPOへの参加人口が2.1%。協働についてきちんと伝わっているのか、この数字からだとうかがえない。下野市自治基本条例では協働をすすめているが、市民に伝わっているのか。下野市が掲げる協働が今の時代に合わないのではないかと。

**A** 市長 市民活動支援の情報やボランティア情報、市内の特定非営利活動法人も掲載し支援制度の活用による協働の推進や市民活動に参加するきっかけづくりを進めている。市民団体が地域課

題の解決のために自主的に取り組む活動に対し補助金を交付する市民活動補助事業、また専門的知識、技能など、市の審議会や委員会、講座等において活用できる協働のまちづくり人材バンク制度がある。自治基本条例の検証は来年度を予定しており、市民参画の下に検証を行い、条例の見直し及び市民が主役のまちづくりに関する政策について、必要な措置を講ずる。

### 市民活動センターの今後の活用

**Q** 市民活動センターは、団体の管理をすることだと思うが、どのように考えているのか。

**A** 市長 市民の活動拠点として、市民活動に取り組む団体や個人、企業など、各主体の連携促進や情報発信、活動場所の提供などを推進する施設として、より活発な運営を図っていく。



地域問題解決の近道は、手を繋いで円を作るように相互理解を深めることで解決することがたくさんあります。



## 松山 裕 議員

# 人生100年時代の長寿社会における市民1スポーツ推進について伺う

**市長** 市体力向上、健康増進等の一人ひとりの目的に応じてスポーツを楽しむ環境整備に努める

**Q** 本市が長寿社会のモデルになるためのスポーツ振興について、どのように進めていくのか。

**A** 市長 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」をスポーツ振興の絶好の機会として捉えて、全ての市民がいつでもどこでも生涯にわたりスポーツを楽しむ環境整備に努める。

**Q** 健康無関心層に対するスポーツの推進について、歩くことで身体活動を多くし健康維持できると言われる運動習慣の定着に向けた取組を伺う。

**A** 市長 第3次下野市健康増進計画「健康しもつけ21プラン」基本目標、健康に関する生活習慣の改善に基づき健康づくりを推進していくため、身体活動、運動の位置づけをしている。

**A** 教育長 健康無関心層に対しては、市民誰もが気軽に親しめるウォーキングイベント等の充実

を図り、スポーツや健康づくりを実現するためのきっかけとして健康、IT観光、スポーツとは別の要素を組合せてスポーツに関心のない方にも関心を持たせる取組みをしている。

**Q** 市の豊かな医療資源を活用し、運動量と健康と相関関係を医療機関から適切なアドバイスを受けられるシステムを導入してほしい。

**A** 健康福祉部長 現在の健康マイレージ事業を幅広い世代の方に気軽に利用できるよう工夫を検討する。



健康しもつけ21プラン

## 学校給食の無料化を実現することはできないのか

**市長** 無料化に関しては、現在の財政状況等を踏まえ、なかなか難しい状況である

**Q** 今、すさまじい物価高騰が進み、学校給食材料費も高騰している。それに伴い、学校給食費の値上げを実施した自治体もあるが、一方では子育て支援として、給食費の無料化に取り組んでいる自治体が増えている。本市でも給食費の無料化はできないか伺う。

**A** 教育長 令和4年度の学校給食費の総額は、約2億4,000万円を見込んでいる。給食費の無料



## 五戸 豊弘 議員



化は、家計の負担軽減につながり、子育て世代の移住・定住を促し人口減少に歯止めをかける効果等が期待されると言われている。しかし、多額の財政負担が伴う給食費の無料化は現実的でないと考えている。

### 市民生活を直接応援できないか

**Q** 現在の物価高騰は、下野市民にも大きな影響を与えている。市民生活を応援する支援策として、再度、水道料金の減免等はできないか伺う。

**A** 市長 水道料金の減免については、令和2年10月から令和3年1月までの4カ月間、2期分の基本料金減免を実施したところである。今後、地方創生臨時交付金の追加配分があった際の支援策の候補として、既に実施に向けて検討しているところであり、慎重に判断していきたい。



## 金子 康法 議員

# 自治会公民館のあり方と デジタル化（DX）の推進・ デジタルデバイドの対策を問う

**市長** 公民館・公園管理等、住民の意見に配慮し対応する。  
市民に利便性の高いDX推進を図りたい

**Q** 自治会公民館は本市内に90カ所あるが、老朽化や利用率低下等の問題を生じている公民館が少なくない。今後のあり方や支援策、公園の土埃・除草対策等について問う。

**A** **市長** 自治会公民館は統廃合等も含め、自治会や地域の活性化につながるよう支援していく。公園は利用者の注意喚起・改善策も検討し、安心安全な維持管理に努める。

**A** **建設水道部長** 土埃対策として自然素材の表層材等を研究・検討したい。除草はボランティア団体として活動をお願いしたい。

### デジタル化の推進

**Q** デジタル化（DX）の具体的な推進策と、特に高齢者向けデジタルデバイド問題への対策を問う。

**A** **市長** 今年3月、下野市DX推進方針を策定し、

具体的な取組を推進するワーキンググループを立ち上げた。来庁せず申請できるオンラインシステムや窓口手続簡素化システムを年度内に実現したい。高齢者向けデジタルデバイド対策として、スマホやパソコン講座・相談会を開催しているが、これを引き続き充実させていく。

### ●DX（デジタル・トランスフォーメーション）

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。自治体におけるDXでは、

- ①自治体が担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させる。
- ②デジタル技術やAI等の活用により、業務効率化を図り、人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていく。ことが求められている。

### ●デジタルデバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差。

## 石川 浩 議員



# 不妊治療費の全額費用負担化について

**市長** 保険適用後の不妊治療の助成内容について検討していきたい

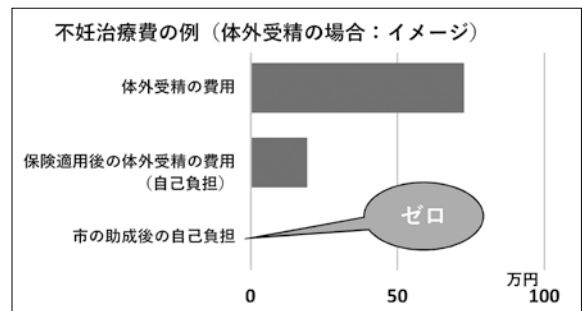
**Q** 少子高齢化が加速している。少子化対策として、国や自治体では、生まれた後の子育て支援策に傾注しがち。しかし「子どもを増やす」対策にはなっていないと思う。真の少子化対策が急務かと思う。そんな中、本年4月から不妊治療が保険適用になり、自己負担3割で治療を受けられるようになった。治療を行っているご夫婦にとっては嬉しい改正かと思うが、この費用負担



も全額自治体でまかなってくれている自治体がある。下野市は、少子化対策・人口増加率を率先して取り組んでおり、また、市長も安心して子供を産み育てられる環境作りを公約としている。不妊治療費の全額を市が負担す

る仕組みにしたらどうか。

**A** **市長** 不妊に悩み、子どもを持ちたいという方々の気持ちに寄り添い、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図るといふ本市の趣旨に合わせるべく、保険適用後の不妊治療の助成内容について検討していきたい。







# 加藤好雄 議員

## 高齢者にもわかりやすい 市民相談窓口(ホットライン) の開設はできないか?

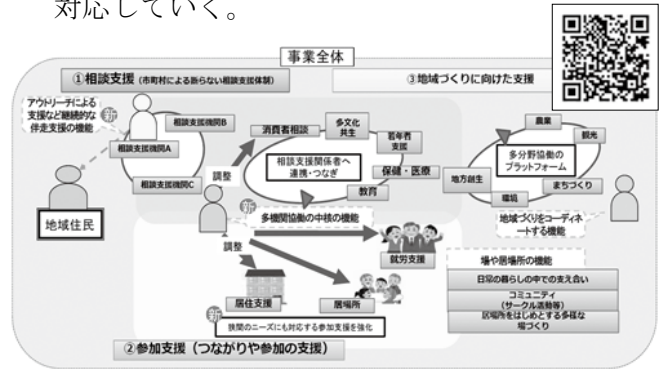
**市長** どこにどんな相談をしたらよいか分かりにくいため、関係する所管部署でしっかり対応したい

**Q** 高齢者、障がいのある方、ひとり親家庭、コロナの感染等多岐にわたる複合的な相談ケースも増加傾向にある。市ではどのような支援体制で取り組んでいるか。

**A** 市長 相談窓口は地域包括支援センターで既存の相談支援機関を活用した分野を超えた体制づくりと健康福祉部内の組織再編に取り組んでいる。複合的な課題解決に向けた取組の強化を図るため、国が示した重層的支援体制整備事業を令和6年度から実施予定であり、先進事例の情報を収集しながら準備を進めている。

**Q** 市や社会福祉協議会の職員では支援が困難なケースが増加している。民生委員だけに託すには限界がある。相談員に対する支援が必要ではないか。

**A** 市長 相談員にしっかり対応できる組織づくりを目指したい。また、非常にプライベートな重い相談に関しては、民生委員に全てを委ねるのは非常に責任が重い。必ず行政が相談を受けて対応していく。



重層的支援体制整備事業イメージ(厚労省ホームページ)

## 議 会 の 動 き

一  
般  
質  
問

### 8月

- 2日 下野市栃木県農業士会と経済建設常任委員会との懇談会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 経済建設常任委員会
- 9日 総務常任委員会
- 10日 教育福祉常任委員会
- 22日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
- 25日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 26日 議会だより編集委員会
- 30日 小山市議会行政視察来庁

### 9月

- 1日～27日 第3回定例会
- 8日 議員研修会(オンラインセミナー)
- 9、12日 経済建設常任委員会
- 13、14日 総務常任委員会
- 15、16日 教育福祉常任委員会

- 23日 議会運営委員会・議員全員協議会  
議会活性化特別委員会
- 27日 議会だより編集委員会

### 10月

- 7日 議会だより編集委員会
- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 経済建設常任委員会・議会運営委員会  
議員全員協議会・議会活性化特別委員会
- 22日 市議会主催講演会「失敗の予防学」
- 24日～25日 議会運営委員会行政視察
- 26日 第3回臨時会
- 27日 茨城県那珂市・岐阜県本巣市行政視察来庁  
議会だより編集委員会
- 28日 栃木県市議会議長会議・議員研修会
- 31日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」
- 31日～11月1日 総務常任委員会行政視察

## 第4回 定例会 (12月議会) の予定

日	月	火	水	木	金	土
11月27日	28	29	30	12月1日	2	3
			開会	本会議	一般質問	一般質問
4	5	6	7	8	9	10
	本会議		常任委員会			
11	12	13	14	15	16	17
				本会議		
				閉会		

※会議の予定は変更になることがあります。  
※日程が決定次第、議会ホームページでお知らせいたします。

経済建設常任委員会が懇談会を行いました

# 下野市栃木県農業士会 × 経済建設常任委員会

下野市栃木県農業士会の皆様をお迎えして、経済建設常任委員との懇談会を開催しました。

- ・開催日時：8月2日（火）18時～20時
- ・出席者：農業士会12名、経済建設常任委員6名

下野市における栃木県農業士会は、県知事から認定された農業士19名で組織され、模範的な農業経営を実践し、新規就農者の育成指導を行うなど、地域農業の振興に関する活動を行っています。この度開催した懇談会では、農業士の皆様から多くのご意見をいただき、あっという間に終了時刻が過ぎた感のある非常に熱の入った貴重な時間でした。

話題となった一部を次に示します。

- ・コロナ禍やウクライナ問題等から原油・肥料・資材等、高騰への危機感大。
  - ・新規就農者の育成指導状況と市や県の支援の拡充。
  - ・農業インフラとしての堰（せき）・用水路は改修の時期になるが、地元負担軽減の補助希望。
  - ・6次産業について、補助条件改善や相談できる体制の整備等々…。
- 地域の農業振興に日々、熱心にご尽力されている状況や、数々の問題点についてのご指摘等を拝聴しましたが、今後、市議会や本委員会として、今回の懇談会をもとに農業振興と発展のため、緊急支援策を含めた諸課題にしっかり取り組んでいかねばなりません。



有意義な懇談会が実現できたことに深謝申し上げます。  
(経済建設常任委員 金子 康法)

## ぎかいだより クイズ

- 1 令和3年度一般会計の市税の歳入額は、〇〇億7,612万7千円となりました。
- 2 12月に開館する石橋複合施設は、公民館と〇〇館の複合施設です。
- 3 議会情報「こんにちは！下野市議会です」も放送しています。FMゆうがおの周波数は〇〇.〇MHz（メガヘルツ）です。

《前号のクイズの答え》  
①：18 ②：教育福祉 ③：4

### 文化財グッズ



《応募方法》  
①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。  
正解者の中から、抽選で10名の方に「文化財グッズ3点セット」をお送りします。（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。）  
《あて先》  
〒329-0492 下野市荳原26番地  
下野市議会事務局  
「議会だよりクイズコーナー」宛  
《しめくり》  
12月15日（木）（当日消印有効）  
**議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね**

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症が警戒レベル2の中で、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会が開催されました。本県選手団の活躍、本市出身選手・本市開催の競技選手の頑張りに感動しました。

さて、9月議会は決算議会として、前年度の歳入と歳出（収入と支出）と決算内容（黒字と赤字）を審議する議会です。代表監査委員の報告では財政の健全性は維持されているが、今後は厳しくなることが見込まれるとの報告でした。これらの詳細を市民の皆さんにわかりやすく伝えられるように編集しましたので、市政や財政など、全てのページに目を向けていただくとありがたいです。  
(伊藤陽一)

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話0285(43)1236

### 発行 栃木県下野市議会 編集 議会だより編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 村尾 光子 |
| 副委員長 | 伊藤 陽一 |
| 委員   | 山下みゆき |
|      | 西本由利子 |
|      | 石川 浩  |
|      | 金子 康法 |

※次号（No67）は2月15日に発行します

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約22円です。